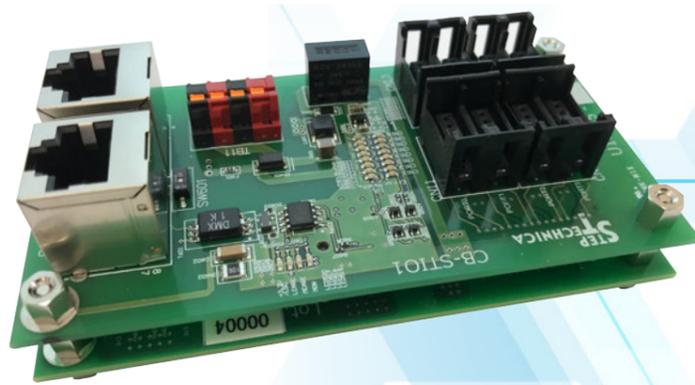


## CUnet 対応の IO-Link ゲートウェイ

## CUnet × IO-Link

型番: **CUB-IOLGW8**

## ■ CUnet IO-Link ゲートウェイユニット: CUB-IOLGW8

## ● 概要

CUB-IOLGW8は、CUnet対応のIO-Linkゲートウェイユニットです。

CUnetはI/O制御を行う共有メモリと別に非同期の1対1のメッセージ通信を行うことが可能なため、RS485通信(CUnet)でありながらIO-Linkに対応することができます。

これにより、これまで産業用Ethernetでしか接続できなかったIO-Link 機器をお手軽に使用することができます。

CUnetマスタからのISDU通信をメール通信コマンドでカプセル化してIO-Linkデバイスと非周期の通信が可能となっているため、プロセスデータを定時通信でメモリ共有している間でも、IO-Linkデバイスの各種パラメータ及びIO-Linkマスタの各種設定値の読み出し・書き込みができます。

## ● 特長

- IO-Linkデバイス接続数: 8ch
- IO-Linkコネクタ: e-con、ナイロンコネクタ
- IO-Linkモード以外にDin/Doutでも使用可能  
(PNP/NPN両対応に切り替え可能)  
接続機器の個別設定(ch毎)可能
- 使い勝手を考えた専用コンフィグレーションソフト  
C<sup>3</sup>(Ccube)を用意
- コネクタボードのカスタム対応可能



## ■ CUnet IO-Link ゲートウェイのシステム構成例

## ● CUnet 単体構成

通常のCUnetラインにIO-Linkゲートウェイを追加するだけでIO-Link機器に対応することができます。

CUnetは、半導体製造装置などの産業装置に多く採用されており、装置内のセンサをIO-Link化する際に問題となるコストやIPの増加、IP67コネクタなどの課題を解決したソリューションを提案可能です。

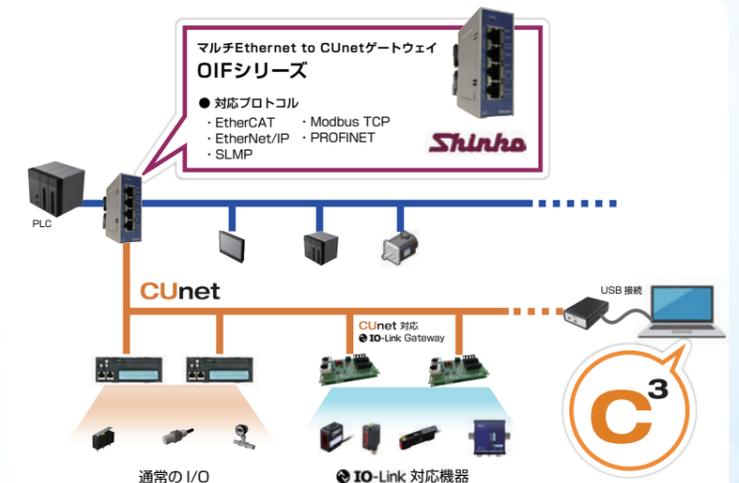
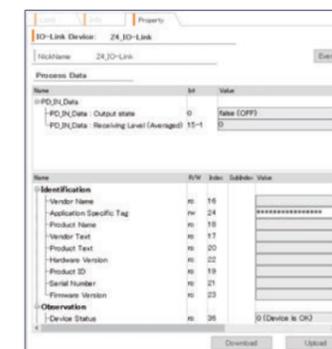
また、CUnet専用のIO-Link設定用ソフトウェア「C<sup>3</sup>(Ccube)」もご用意しており、装置組み立て時におけるIO-Linkの設定なども容易に行うことができます。



## ● 産業用 Ethernet との接続構成

産業用Ethernetの1スレーブとしてCUnetゲートウェイを置くことにより、IPを増やすことなくI/O制御に特化したネットワークを増設することが可能な構成です。

また、PLCなどのコントローラにてIO-Linkのコンフィグレーション用ソフトを動作させることは非常に手間がかかりますが、CUnetであればマルチマスタ接続が可能のため、図の通りCUnetラインにUSB機器を置くことによって、PLCや産業用Ethernetを介さずにコンフィグレーションやデータの読み出しなどを行うことが可能です。

Ccube IO-Link コンフィグレーションツール C<sup>3</sup>

ProcessData・パラメータの表示・変更画面

C<sup>3</sup>(Ccube: CUnet Configuration Conductor)はCUnetのネットワーク構成を管理し、スレーブの設定やIOの確認が可能なアプリケーションソフトウェアです。C<sup>3</sup>はCUnet IO-Linkゲートウェイユニット: CUB-IOLGW8にも対応しており、IO-Link対応機器の設定・管理を行うことができます。

## 特長

- スレーブ検索機能**  
ネットワークに接続されているデバイスを一括でリスト化可能  
リストから各デバイスやIO-Linkゲートウェイなどにアクセス可能
- IO-Linkデータ一括ダウンロード機能**  
複数のIO-Link機器に対して同一の設定値であれば同時に書き込み可能  
これにより装置生産時のパラメータ設定ミスの防止、工数の削減が可能
- IO-Link設定パラメータ保存機能**  
設定パラメータ毎の保存も可能(構成をファイルに保存可能)